

令和6年 11月13日（水）～11月22日（金）
冬の交通安全市民総ぐるみ運動

～めざせ安心で安全な旭川～

凍結路面でのスリップ事故防止等を図るための活動等を推進する。



旭川市シンボル
キャラクター
あさっぴー

冬道運転の心構え ～出発する前にすべきこと～

降雪等のある11月から翌年の3月までの期間は、積雪、凍結、吹雪による視界不良等の冬季現象が交通事故発生の直接または間接的な要因となることが多いことから、次のポイントに注意しましょう。（参考：北海道警察交通企画課 吹雪など視界不良時における交通事故の実態）

① 車両運行は計画的に

- ・余裕を持った予定を立て、予定到着時刻や予定ルートを家族や訪問先に知らせておきましょう。
- ・目的地までの天候・道路状況をテレビ、ラジオ、インターネットなどで確認しましょう。
- ・天候が悪化し、運転が困難だと思うときは、出発時間の変更や公共交通機関の利用を検討してください。状況によっては、出かけるのをやめることも必要です。

② 常備すべきもの

もしもの時のために、防寒服、防寒具（毛布・使い捨てカイロ）、長靴、手袋、スコップ、けん引用ロープ、タイヤチェーン、滑止用ヘルパー、ブースターケーブル、懐中電灯、発炎筒、ラジオなどを車に準備しましょう。

③ 車両点検の実施

点検を確実にし、整備不良箇所が無いようにしましょう。
燃料は十分か、バッテリーは弱っていないかを点検しましょう。

④ 万が一に備えて

携帯電話は充電しておきましょう。飲み物や非常食を用意しておきましょう。



旭川市交通安全広報紙

【発行】旭川市、旭川市交通安全運動推進委員会、旭川市市民委員会連絡協議会交通部会

【問合せ】旭川市7条通9丁目 旭川市総合庁舎4階

旭川市防災安全部交通防犯課 電話25-6215

【回覧】町内会（班）で回覧願います。

[illegible]

冬道運転の心構え ～走行中にすべきこと～

① 道路情報板やラジオ等で、道路・気象情報を確認しましょう。

天気が悪いときはこまめに、「道の駅」やパーキングエリア等で休憩し、ラジオ・テレビ・インターネット・携帯電話等で天気や道路の情報を確認し無理のない運転をこころがけましょう。



② スピードダウン・ライト点灯・車間距離の保持！！

スピードの出し過ぎは厳禁です。視界が悪いと先行車は実際より遠くに見えますので、車間距離を十分にとってください。

視界が悪くなったら、ライトをつけましょう。

相手に自分の存在を知らせることが大切です。



③ 大型車両の雪煙に注意！！

トラックなどの大型車が巻き上げる雪煙によって視界が悪くなります。

道路上に新雪が積もっている場合には、対向車や追越し車の雪煙に注意が必要です。

④ 安全な場所に止まって雪を落とす！！

ヘッドライトやテールランプについた雪で、相手から見えにくくなります。

また、ワイパーに付いた雪で拭きが悪くなります。道路から離れた安全な場所で雪を落としましょう。

⑤ ホワイトアウトに注意！！

物を周囲と区別して識別するためには、色や明るさにコントラスト（最も暗い部分と最も明るい部分の輝度の差）があることが重要です。

周囲が白一色になる冬道では、道路と景色の区別がつきにくくなるため、視界が悪く感じることがあります。



⑥ 走行中に視界が悪くなり運転が困難になったら

視界の範囲で停まれる速度まで減速してください。視界が悪化し運転が困難になった場合は、できるだけ安全な場所に停車し、ハザードランプを点灯し停止していることが他車に分かるようにしてください。

運転中に吹雪で車が動けなくなったら…

① 車から離れない！！

避難できる場所や救助を求められる人が確実に確認できるとき以外は、車を離れてはいけません。

吹雪の中で自分の位置を見失い、遭難するおそれがあります。

また、不用意に車から出ますと後続車にはねられる場合がありますので、交通事故に十分注意する必要があります。



② 救助を求めるときは？

ハザードランプを点灯させ、停止表示板や停止表示灯、旗（明るい色の布）を掲げて停止していることが他車に分かるようにしてください。

警察・消防やロードサービスに電話で救助を求めるときは、できるだけ自分の位置を正確に伝えてください。

③ 車から離れる際には！！

除雪や救助活動の妨げにならないよう、連絡先を書いた紙を車内に置き、車の鍵をつけておきましょう。



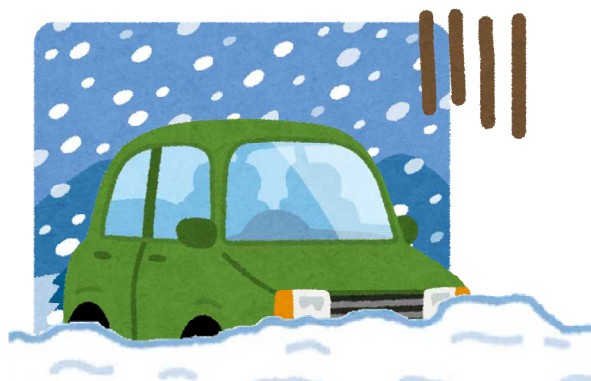
御協力をお願いします！

「道路への雪出し」と「路上駐車」はやめましょう

「道路への雪出し」や「路上駐車」は、道路の除排雪作業や救急車等の緊急車両の通行の妨げになりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。



雪に埋もれた車の中は危険です！



急な大雪で車が立ち往生し、車体が雪で囲まれたとき、マフラーから出た排ガスが車体の下に溜まり、エアコンの外気導入口などを経由して車内に入り込み、排ガス中の有毒な一酸化炭素を吸い込むと、一酸化炭素中毒となり、最悪の場合は死に至ります。

車体が雪で囲まれ、マフラーの排気口より上まで覆われる状況になった場合、マフラー周辺を定期的に除雪することが重要です。降雪時に車内にとどまる際には、できる限りエンジンを切るようにしましょう。

また、事前に毛布やスコップ等を車に常備しておくことも大切です。

子ども向け

一般交通安全教室を開催してみませんか？

小学生までの子どもを対象に、サークルや各地域の団体などが活動する施設へ交通安全教室の講師を派遣します。

交通ルールや危険から身を守るための能力を、ゲームやリズム遊びを通して楽しく学んでみませんか？

教室の内容や所要時間等の詳細はお電話でお問い合わせください。

交通安全指導員が、年齢に合わせた交通安全指導を行います。

内容例

- ・道路の正しい歩き方・渡り方
- ・横断歩道の渡り方
- ・自転車の正しい乗り方

【問合せ先】

旭川市防災安全部交通防犯課 電話：25-6215
受付時間：月曜日を除いた平日8：45～16：30



交通安全アルバム

市内各地域での交通安全の取り組みの一部を御紹介します。



『飲酒運転根絶見廻り隊』
イオン旭川永山店(8/23)



『飲酒運転根絶見廻り隊』
コープさっぽろツインハーブ店(9/13)



『反射材直接貼り付け活動』
旭星地区敬老祝賀会(9/14)



永山地区交通安全協会
黄色い旗の波街頭啓発(9/20)



東旭川地区交通安全街頭啓発活動(9/21)



神楽地区交通安全協会「秋の交通安全旗波運動」(9/22)